

創政会視察研修報告書

平成30年7月2日（月）から7月4日（水）に創政会にて会派視察研修を行いましたので、その概要を下記のとおり報告いたします。

平成30年7月18日

名取市議会議長 丹野 政喜 様

会派名 創政会

代表 佐々木 哲男  印

記

- 1 研修期間 平成30年 7月2日（月）～7月4日（水）
- 2 研修場所 7月2日 北海道むかわ町
7月3日 北海道石狩市
7月4日 北海道江別市
- 3 行程表 別紙のとおり
- 4 参加人員 4名 <氏名>佐々木哲男 丹野政喜 長南良彦 荒川洋平
- 5 研修内容 別紙のとおり
- 6 所 感 別紙のとおり



平成30年度 創政会視察研修行程表

日程	行程	視察先及び視察項目	宿泊
7/2 (月)	仙台空港(10:05発)⇒(11:15着)新千歳空港(11:45発)==(11:48着)南千歳駅 (11:59発)==(12:19着)苫小牧駅(12:23発)==(12:53着)鷗川駅… <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 14:00~16:00 むかわ町議会視察 …… 鷗川四季の館前(16:25発)= (18:00着)札幌駅前 </div> 札幌市内宿泊	北海道勇払郡むかわ町議会 所在地 むかわ町美幸2丁目8番地 電話番号 0145-42-2486 (事務局) 調査項目 1 特定不妊治療費・不育症治療費助成事業について	グレイスリー札幌 所在地 札幌市中央区北4条西4丁目1 電話番号 011-251-3211
7/3 (火)	北5条西1丁目バス停(8:53発)==(9:32着)石狩庁舎前… <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 10:00~12:00 石狩市議会視察 …… 石狩庁舎前= 北5条西1丁目バス停 </div> 札幌市内宿泊	北海道石狩市議会 所在地 石狩市花川北6条1丁目30番地2 電話番号 0133-72-3181 (事務局) 調査項目 1 生涯スポーツとしてのパークゴルフについて	
7/4 (水)	札幌駅(9:10発)==(9:33着)江別駅… 江別市議会視察 …… 江別駅(13:28発)==(13:53着)札幌駅(14:05発)==(14:42着)新千歳空港 (15:15発)⇒(16:20着)仙台東港	北海道江別市議会 所在地 江別市高砂町6番地 電話番号 011-381-1051 (事務局) 調査項目 1 江別河川防災ステーションの役割について	

不妊治療費・不育治療費助成について

1. はじめに

むかわ町は、北海道の東部に位置し、札幌から電車で乗り継ぎ、約 2 時間の道程である。2006 年 3 月に穂別町・鵠川町が合併し、勇払郡むかわ町が発足した。町役場は「総合支所方式」とし合併前の鵠川町役場を本庁舎、穂別町役場を総合支所とした。

人口は、8,356 人、世帯数は 4,249。平成 29 年度の出生数は 60 人。現在は、人口減少傾向で、老年人口は増加傾向とのこと。採算が取れないことから、JR の路線が廃止されるかの瀬戸際に来ており、町では大きな問題となっていた。

特産品はししゃもで、「鵠川ししゃも」が商標登録されている。町のいたるところに、ししゃもをアピールするのぼりがあり、物産館では、冷凍ししゃものお土産などがたくさん置かれている。最近では、日本初の恐竜全身骨格化石が見つかっており、博物館へ化石を見に来る観光客も多くなっているようだ。

2. 不妊治療費助成について

むかわ町不妊治療費助成内容は、次の通り。

① 助成対象費用

第 1 子及び第 2 子を対象とした
・一般不妊治療費
(医療保険適用外) にかかる費用

・特定不妊治療にかかる費用
(道からの助成額を控除した額)

② 助成額及び助成回数

・一般不妊治療 15 万円/年
(回数の上限はなし、通算 3 年間)

・特定不妊治療 30 万円/年 通算 10 回

③ その他

・所得制限は設けない
・対象年齢は 43 歳未満

北海道内で不妊治療費助成を行っている市町村は 56 市町村。内、一般不妊治療助成を行っているのは 14 市町村。助成内容は、道に準ずるものから独自のものまで様々だが、むかわ町

の 30 万円という額は、独自助成が 5 万円～15 万円という市町村がほとんど、という現状から見ても、飛び抜けて高い。

3. 導入に至る経緯

きっかけは町長選の公約であった。現職の、竹中喜之町長が平成 26 年 3 月町長になり、その公約であった特定不妊治療助成を 6 月の補正予算で実現させた。

職員は現状把握から、制度設計までをわずか 1 ヶ月ほどで完成させた。さらに現状把握していく過程で必要だと感じた、一般不妊治療費への助成と、不育症治療費助成も同時に制度設計し、実現させた。

3. 成果と課題

実績は、以下の通り。

一般不妊治療費助成

H26 年・・・2 人

H27 年・・・3 人

H28 年・・・4 人

H29 年・・・4 人

これまで、3 人が妊娠をし、5 人が特定不妊治療に移った。

特定不妊治療費助成

H26 年・・・1 人

H27 年・・・3 人

H28 年・・・4 人

H29 年・・・2 人

これまで、4 人が妊娠した。

助成を行ったことで、不妊治療が受

けやすくなり、適切な時期に特定不妊治療へ移行できている。

利用実績があり、妊娠に至るケースも増えている。

課題としては、一般不妊治療費助成の対象拡大や年齢要件等の要望への対応や、治療に関する相談は医療機関が主となるため、治療後の申請時でない状況がつかめない、といった問題があるようだ。

3. 考察

道の助成事業へ上乘せという形で、上限 30 万円を設定している。この額の大きさから今回視察するに至った。説明を受け率直に感じたことは、その額の大きさは、思いの大きさからきているものだったということだ。

「子どもを望む気持ちは同じでも、不妊治療による経済的負担を理由に子どもをあきらめなければいけない夫婦を救える制度が必要」こう町長も職員も発言していたことから思いの強さが伺える。これは社会的弱者を救うという、行政本来の果たすべき役割を制度設計するうえで、大切なプロセスだと感じた。

名取市は 2018 年住みよさランキング 3 位となった。人口も年々増え続けている。地方都市が抱える、人口減少、高齢化という問題は影を潜めている。しかし、今だからこそ将来へ向けて、移転ではなく、自然増という形で名取市の未来を支える貴重な命を生み出す手助けが必要ではないかと思う。特に、子どもが欲しくて悩んでいる経済

的余裕のない夫婦を。

実体験として、凍結胚移植を実施すれば、治療を行ってきた期間にもよりますが、その費用は100万円ほどかかる。宮城県の助成15万円、名取市の助成10万円という上限額いっぱいでも25万円である。この額をどう見るかは人それぞれだが、私は少ないと感じた。夫婦やその家族にとっての大

きな喜びである子ども、地域の宝である子どもを、経済的理由であきらめなければいけない人がいることを認識し、力になれる行政であってほしいと願う。

(担当：創政会 荒川洋平)

平成30年度創政会会派視察研修報告

訪問先：北海道石狩市

訪問日時：平成30年7月3日（火）

報告者：丹野政喜

はじめに：北海道石狩市の概要

石狩市は、札幌市の北側に隣接し、石狩湾に臨む水に恵まれた環境豊かなまちである。江戸時代初期には河口部流域が「場所」（交易を行う範囲）に指定されたことや交通の要所であったことから、西蝦夷地の中心地として重要な役割を果たしてきた。近年は、石狩湾新港をベースにした国際的な文化・経済の拠点として、めざましい発展を遂げている。総面積は722.42平方キロ。西側一帯は石狩湾に接している。人口59,015人。（H29）

1、生涯スポーツとしてのパークゴルフについて

(1) 取り組みの経緯について

平成8年9月、石狩市が誕生した。その市制施行を記念して、「石狩市緑苑台パークゴルフ場」が整備された。敷地18,485㎡、総延長780m、パー66の18ホール。翌年（平成9年）5月に供用開始された。さらに、平成15年には18ホール（18,487㎡）が増設され、敷地面積24,000㎡、全36ホールと充実したパークゴルフ場となった。また、平成9年に国際公認コースに指定され、同時に国際パークゴルフ協会石狩支部も結成された。さらに、石狩パークゴルフ協会が石狩市体育協会に加盟し、現在は、石狩市体育協会に指定管理を任せている。

(名称) 石狩市緑苑台パークゴルフ場

(敷地面積) 24,000㎡、36ホール

(開放期間) 4月25日～11月4日

(コース利用料)

○大人一日券：500円 大人1シーズン定期料金：18,000円

○子ども一日券：300円 子供1シーズン定期料金：5,000円

○高齢者一日券：500円 高齢者1シーズン定期料金：13,000円

ただし：高齢者は福祉利用券割引（2,000円）があり、1シーズン11,000円で利用できる。そのほかにも

□大会・例会割引（8名以上）大人・高齢者 300円

□黄昏（たそがれ）割引 大人・高齢者 300円。5月～8月は（15時～終了まで）。9月（14時～終了まで）10月（13時～終了まで）

(2) 建設に至る経費

内容	建設費	規模	建設月日
新築工事	101,460,000 円	18,485 m ²	H8年5月～11月
練習ホール増設工事	1,695,000 円	745 m ²	H10年
18ホール増設工事	95,781,000 円	18,487 m ²	H14年5月～12月
休憩所新設工事	16,616,250 円	99.28 m ²	H21年10～12月

(3) 維持管理費の現状 (平成 29 年度の例)

科目	平成 29 年度決算	備考
事業収入	345,000	併設しているテニスコート管理料
補助金等収入	12,204,450	石狩市より指定管理委託料
事業収入計	12,550,050	
通勤手当	73,740	
管理人賃金	3,439,365	
労災保険料	10,914	
通信運搬費	48,560	
手数料	56,614	
消耗品費	384,860	
修繕料	100,800	
燃料費	4,088	
光熱費	619,220	
賠償保険料	80,620	
租税公課	5,000	
施設維持等委託	9,491,373	芝の管理
事業支出計	14,370,168	
収支差額	△1,820,118	

(4) 利用状況

H27 年度	37,125 人
H28 年度	30,375 人
H29 年度	28,485 人

(考察)

石狩市の市制施行を記念して整備された緑苑台パークゴルフ場は、手稲山を望む自然美溢れるロケーションにも関わらず、市街地からも近く気軽に利用できる施設となっている。また、平坦なコースで初心者や女性にも優しいコースとなっているため、市民が気軽にスポーツに親しむことのできるスポーツ施設となっている。利用者も市内在住の方々ばかりでなく、市外からの利用者も増えている。ただし、パークゴルフの技術が上がってくると利用者も札幌市などの隣接するパークゴルフ場を歩くことを楽しみとするようになるとのことで、利用者の底辺を広げていく役割は果たしているものの、他のパークゴルフ場との差別化をはかり、利用者の拡大を図ることに苦慮しているとのことであった。しかし、「健康づくりは歩くことから」を目標に、市民の心身の健全な育成・健康の維持増進を図る施設としては、パークゴルフ場は魅力ある施設である。

私たちが短いコースを実際にやらせていただいたが、気分爽快、初心者でも十分楽しむことができた。名取市は、閑上東地区再開発エリアの中の運動公園ゾーンにパークゴルフ場の構想を持っている。今後、閑上地区のコミュニティ再生、交流人口の拡大に手軽なスポーツを通じた魅力の発信は是非必要である。同じような目的から近隣の被災地でもパークゴルフ場の構想を持っていると聞く。ならば、むしろそれらのパークゴルフ場と連携できないか。また、閑上東地区には、サイクルスポーツセンターや潮風トレイルの管理センターも予定されている。それらとの組み合わせも可能ではないのか。様々な課題もあるが、新しい閑上地区のまちづくりの視点として、スポーツの力を活用したまちづくりという視点も大きな可能性を秘めていると感じる。



名取市議会創政会行政視察報告書

佐々木哲男、丹野政喜
長南良彦、荒川洋平

- ・日 時 平成30年7月4日（水） 午前10時～12時
- ・視察先 北海道江別市
- ・視察項目 江別河川防災ステーションの役割について
- ・対応者 江別市建設部土木事務所治水課課長 小松憲幸
江別河川防災環境事業協同組合事務局長 秋葉 博

(1) 江別市の概要

石狩平野の中心部に位置し全体に平坦な地形。北海道では比較的温暖な地域であるが四季を通じて風が強いのが特徴。雪は山間部に比べ少ないが1m近い積雪がある。市内にインターチェンジが2つあり、空や海の玄関口にも近く北海道経済の中心、札幌市の隣に位置しながら石狩川や野幌森林公園などの自然に恵まれた美しく便利な住みやすいまちである。

面積：187.38 km²・人口：119,049人(H30.6.1現在)・世帯数：57,019世帯

(2) 設置に至る経緯について

江別市には、大雪山系の石狩岳からはじまり、多くの支流と合流しながら石狩平野を流れ日本海に注ぐ石狩川があり、大地への豊かな潤いをもたらす一方、大雨などによりそれまでの予想を超える洪水が発生し、街に大きな被害を与えてきた。観測史上最大の雨量を記録しもっとも甚大な被害をもたらした昭和56年8月の集中豪雨による洪水は、最高水位が9m20cmに達し各河川が満水状況となり、各所で漏水、溢水、決壊状態が引き起こされ1,526世帯5,314人が避難した。

また家屋の全壊、床上、床下浸水1,025棟、田畑の冠水、浸水5,509ha、牛豚1,120頭、ニワトリ382羽が死亡、行方不明となった。

江別河川防災ステーションは、このような洪水被害を受けたことで水防資器材の備蓄をはじめ災害時の活動拠点として平成15年に建設された。

【施設概要】

- 敷地面積：約18,000 m²
- 延床面積：約1,200 m²(国：約500 m²、市：約700 m²)
- 総事業費：約16億円(国：10億円、市：6億円)
- 総建築費：約8億円(国：2億円、市：6億円)

●維持管理費：管理協定により支出(国：市=39：61)年間約1,600万円

●各フロア概要

○1階

①インフォメーションホール

・防災情報、防災グッズの展示、地元特産品の展示販売

②河川管理倉庫(国)

・救命ボート、大型土のうほか

③水防倉庫(市)

・土のう袋、鉄杭、シート、ライト、スコップ、掛矢、一輪車、カップ

④救護用ボート(エンジン搭載型)格納庫

・10 艀

○2階

①展示室

・石狩川の自然・改修などの歴史年表

②休憩コーナー(軽食)

③会議室(無料)

④上川丸(レプリカ)江別港を拠点に石狩川を航行した外輪式の蒸気船

○屋上

①展望台(石狩川、千歳川が目前に見える)

【開館時間】

・火曜日～日曜日/午前9時～午後6時30分

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始 12月29日～1月3日

(3) 具体的な取組みについて

①平常時：防災意識の啓発と高揚

・河川事業の啓発、防災意識の高揚

川の歴史展示(ボード、ジオラマ)、特産品の販売、防災グッズ展示

こいのぼりフェスティバル、農家のお母さんによる土曜日、花火大会

味覚まつり(6月、10月)などのイベント開催

調査船「弁天丸」を使用した学習支援活動(石狩川振興財団)

・消防団による水防訓練の実施(H28年は6回実施)

*防災ステーション来場者数推移

H29(7.6万人) H28(7.8万人) H27(8.3万人) H26(7.4万人)……………

H20(5.7万人)…………… H15(1.5万人)

毎年小学校2～3校が社会見学で来訪。

②災害時：緊急復旧活動の拠点

- ・水防資機材の備蓄、水防活動の作業場
- ・仮眠スペース、炊き出し施設
- ・災害時（水害を除く）の避難所（200名程度収容可）

*北海道開発局が屋外に備蓄する水防資器材一式

- ・非常用土砂：約 8,000 m³・鋼矢板Ⅲ型：約 1,020 枚・根固ブロック（3t 型）：約 100 個・大型連接ブロック：約 1,500 個（地中埋設）

③維持管理の現状

- ・主な委託業務

機械警備、館内管理（2名：受付窓口、施設点検、清掃等）、昇降機保守点検、電気工作物保守点検など

(4) 成果と課題について

- ・各種イベントなどにより市民への一定の認識は得ることができたが、「防災意識への啓発」に繋がっているか疑問が残る。
- ・施設レイアウトや展示物など目新しいものがなく、イベント時以外の来館者数の増加が見込まれない。
- ・築 15 年以上が経過し、今後老朽化による補修費用が見込まれる。

(5) 考察

江別河川防災ステーションは、水防資器材の備蓄、水防活動の拠点基地としてのみならず災害時の避難場所や防災研修、河川情報の提供、川を題材とした歴史、川の恩恵などの展示を始め市民の憩いの場として親しまれる空間づくりなど幅広い役割を兼ね備えた施設であった。

特に今年の北海道は例年の 2.4 倍の雨量とのことで、我々が視察した 4 日も台風 7 号の前線の影響で雨となり、支流の千歳川は危険水位に迫る勢いで増水し、市内 20 基の排水機場のうちすでに 9 基が稼働開始しているとのことで大変緊迫した状況下での訪問となった。

異常気象によるゲリラ豪雨などが頻繁に発生する昨今、これまで河川被害に見舞われてきた江別市にとって河川防災ステーションは、被害防止と市民の安全安心を守る観点で大変重要な役割を担っていると感じた。

本市に平成 31 年度完成で計画されている、名取川河川防災ステーションについて、今後具体的な内容が示された際には、市民の安全安心を最大限確保する施設を目指し今回の視察で学んだ知識を参考にしたい。

（文責：長南良彦）